

同時記者発表

- ・国土交通省九州記者会
- ・九州建設専門記者クラブ
- ・佐賀県政記者クラブ
- ・武雄市政記者クラブ

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成24年 8月21日
九州地方整備局
河川部河川計画課

記者発表資料

「六角川水系河川整備計画 - 国管理区間 - 」を 策定しました

～自然と共存し地域とともに築く安心で自然豊かな六角川～

国土交通省九州地方整備局では、六角川水系（国管理区間）における今後概ね30年間の具体的な河川整備等の内容を記載した「六角川水系河川整備計画」を平成24年8月16日に策定しました。策定にあたっては、平成23年3月より流域住民、学識経験者、佐賀県知事及び関係機関等、様々な方々の意見聴取や協議を経て参りました。

今後、この河川整備計画に基づき、より一層関係住民の方々や学識経験者の方々、関係機関等と連携・協働を図りながら、六角川の川づくりを推進していきます。

記

1. 六角川水系河川整備計画の概要

記者発表資料 別紙のとおり

2. 策定までの経緯

河川整備計画（原案）	公表	平成23年	8月11日
河川整備計画（案）	公表	平成23年	11月22日
河川整備計画	策定	平成24年	8月16日

3. 閲覧できる場所

- ◇国土交通省武雄河川事務所 ロビー（1F）
〒843-0023 武雄市武雄町大字昭和745 TEL：0954-23-5151
- ◇国土交通省武雄河川事務所 朝日出張所
〒843-0001 武雄市朝日町大字甘久1521-6 TEL：0954-22-3014
- ◇国土交通省武雄河川事務所 牛津出張所
〒849-0305 小城市牛津町上砥川47-9 TEL：0952-66-0315

4. その他

「六角川水系河川整備計画」については、平成24年8月21日より武雄河川事務所ホームページ（http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/html/rokkaku_02_03.html）に掲載しています。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 河川部	TEL：092-471-6331（代表）
河川計画課長 藤本 雄介	（内線3611）
建設専門官 浦山 洋一	（内線3616）

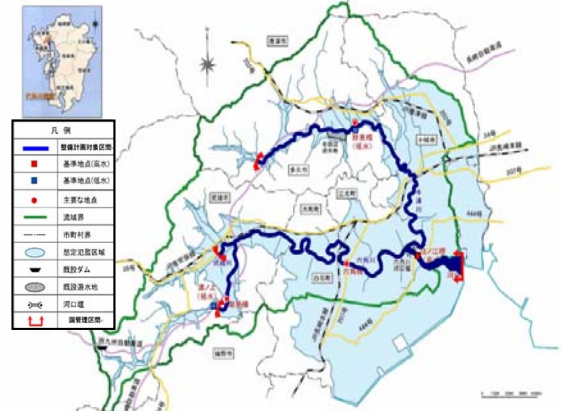
国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所	TEL：0952-23-7933（調査課直通）
技術副所長 山本 佳久	（内線205）
調査課長 佐藤 博志	（内線351）

六角川水系河川整備計画の概要

河川整備計画の基本理念
～自然と共存し地域とともに築く
安心で自然豊かな六角川～

河川整備計画の対象区間: 六角川水系の国管理区間
河川整備計画の対象期間: 概ね30年

六角川水系河川整備計画は、流域住民が安全、安心して暮らせるように、社会基盤の整備を図るとともに、六角川特有の自然環境を保全し、過去からの流域の形成を踏まえ、流域の個性に合った川づくり、まちづくりを目指します。



治水

災害から地域住民の貴重な生命、財産を守り、安全で安心して暮らせるように、災害に強い基盤づくりと、地域防災力の向上を目指す

- 河川整備計画の目標流量を安全に流下させることができない区間に対して、河道掘削、部分引堤、堰の改築、及びヨシ原の適切な伐採管理および堤防高や断面が不足する区間の築堤を実施します。
- 六角川中流部、牛津川下流部に洪水調節施設を新たに整備します。また、既設牟田辺遊水地の改良を行い、効率的運用を図ります。
- 頻発する内水被害を軽減するため、流域全体のバランス、近年の被害状況等をふまえ、排水ポンプ場の整備、家屋や道路の嵩上げ、被害危険区域の指定など土地利用のありかたや、ため池・クリークの有効活用など、流域の特性に合わせた総合的な内水対策の実施に向け、関係行政機関との連携・調整を図ります。
- 洪水・高潮等による災害の防止または被害を最小限に抑えるため、堤防・護岸・樋管等の河川管理施設や河道の堆積土砂等に対して適切な管理を行います。
- 洪水等による被害を軽減するため、水門・排水門等の操作管理、河川情報の収集と情報伝達体制の充実等、総合的な被害軽減対策を関係機関や地域住民等と連携して推進します。

利水

川の恵みに感謝し、豊かな社会が築ける川づくりを目指す

- 取水実態等の変化を踏まえ、慣行水利権を許可水利権に変更するなど適正な水利用を目指します。
- 実施にあたっては、河川流量の監視及び河川からの取水量を把握するとともに、流水の利用の適正化や合理化が図れるよう関係機関との調整に努め、目標とする流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保に努めます。

環境

六角川の自然豊かな環境や、特有の生態系を保全・継承できる川づくりを目指す

- 六角川の独特な流れと豊かな自然が織りなす良好な河川景観や、多様な動植物が生息・生育・繁殖する自然環境を保全及び整備し、次世代に引き継ぐよう努めます。
- 人々の河川に対する関心を高めるために、地域住民の生活基盤や歴史、風土、文化を形成してきた六角川と周辺の自然環境、観光資源とが一体となった活力ある地域づくりを目指します。